

■ 評価項目（再修正案）

前回までの議論をふまえて、評価項目を修正しました。

この修正した評価項目をもとに、本日のワークショップで対策案の評価を行います。

課題解決の狙い	評価項目
①過度な財政負担が将来世代に残らない	●コストを長期的（50年間）に、どの程度削減できるか
②空いた土地や既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る	●既存建物の有効活用方策は何か ●再配置前後で利便性はどのように変化するか ●市民の活動に必要なスペースや機能がまかなえるか
③子育ての環境を整え地域の魅力を高める	●新たに実現する子育て支援機能は何か ●各地区に住む子ども達が行きやすい範囲で子どもの活動スペースを確保できるか
④若者・高齢者・障がい者の居場所をつくり地域を活性化させる	●新たに提供される若者の居場所はどこか ●高齢者・障がい者の居場所はどこか ●大学との連携の可能性はあるか
⑤地域のまとまり一体感を形成する	●地域の活動が活性化するか ●人が集まるスペースや施設が確保されるか ●歩いて行ける範囲に地域密着型の拠点があるか
⑥災害に強く安全な地域をつくる	●現状で提供されている避難所機能が再配置後に低下しないか
⑦アクセスしやすい公共施設配置とする	●公共交通等により自宅から公共施設まで、あるいは公共施設間のアクセス性が高まるか ●駐車場がどの程度確保できるか

※赤字：今回修正・追加したもの